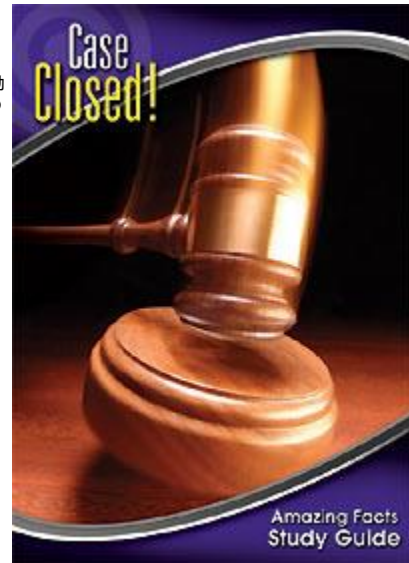


陪審員たちが戻り、評決が読まれ...判決は下された! (訳注: アメリカの司法制度は日本と異なり陪審制になっています、ここではそのまま訳しています) この裁判のことを考える以上に厳肅な思いになるものはほかにほとんどありません。この世で生を受けたすべての人々が、全能の神の御前で彼らの人生を審査される日が急速に近づいています (コリント人への第二の手紙 5:10)。けれどもあなたはこの事実に参加してはいけません-どうぞ安心して下さい。非常に多くの人たちがこの聖書研究講座を通して、裁きのメッセージがとても良い知らせであるということを見出しているのです! ヨハネの黙示録で、裁きのことについて述べられている中の4箇所では賛美と感謝がもたらされているのです。聖書の中で、千回以上も裁きのことについて触れられているということをご存知でしたか? そしてほとんどすべての聖書の著者も裁きについて述べていますので、その重要性はどんなに強調してもしすぎるということはありません。これから少しの間、あなたはこの軽視されてきた課題について目を開かれる学びをすることでしょう。[参考: 裁きには三つの段階があります ... この課を学ぶにあたりそれらに注意を向けてください]



最後の裁きの第一の段階

1. 天使ガブリエルは、ダニエルに天で行われる1844年の裁きの預言を与えました。この最初の段階の裁きは再臨前審判と呼ばれます、なぜならその裁きは、イエスの再臨の前になされるからです。この最初の段階の裁きの対象となる人々はだれですか? それはいつ終了しますか?

「さばきが神の家から始められる時が来た。」ペテロの第一の手紙 4:17。「不義な者はさらに不義を行い、汚れた者はさらに汚れたことを行い、義なる者はさらに義を行い、聖なる者はさらに聖なることを行うままにさせよ。『見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。』」ヨハネの黙示録 22:11, 12 (テモテへの第一の手紙 3:15 もご参照ください。)

答え: この裁きは、イエスの再臨の直前に終わります。クリスチャン-「神の家」-と称する人々(生きている者たちと死んでいる者たち)が、再臨前審判の対象となる人々です。(1844年に関しては、この講座の18課ですでに確認済みです)



裁きの第一段階では、義人の生涯のみが調査の対象となる。

2. 審判を司るのはだれですか? 被告側弁護士はだれですか? 裁判官は? 告発人は? 証人はだれでしょうか?

「日の老いたる者が座しておられた ... そのみ座は火の炎であり」「審判を行う者はその席につき ... かずかずの書き物が開かれた」ダニエル書 7:9,10 「父のみもとには、わたしたちのために助け主、すなわち、義なるイエス・キリストがおられる」ヨハネの第一の手紙 2:1 「父は ... さばきのことはすべて、子にゆだねられたからである。」ヨハネによる福音書 5:22 「悪魔 ... われらの兄弟らを訴える者、夜屋われらの神のみまえて彼らを訴える者は、投げ落された」ヨハネの黙示録 12:9,10 「アメンたる者、忠実な、まことの証人、神に造られたものの根源であるかたが、次のように言われる」ヨハネの黙示録 3:14 (コロサイ人への手紙 1:12-15 もご参照下さい)

答え: 父なる神、日の老いたる者が、裁きを司られます。神はあなたをとても愛されています (ヨハネによる福音書 16:27)。サタンが、あなたのた一人の告発人です。天の法廷において、あなたを愛していらっしゃるイエス -- あなたの最愛の友--が、あなたを弁護し、判事、そして証人になられるのです。そしてイエスは、「聖徒に有利になる」裁判を行うことを約束しておられます。ダニエル書 7:22 NEB.*

*The New English Bible, (C) 1961, 1970 by the Delegates of the Oxford University Press and the Syndics of the Cambridge University Press. Used by permission.



イエスは裁きにおいて、彼に忠実な人々の側に立ち、彼らに確かな評決を約束される。

3. 再臨前審判で用いられる証拠資料は何ですか？ 何の基準によってすべての人が裁かれるのですか？ 神はすでに、すべての人の、すべてのことをご存知であられるのに、なぜ審判をされるのですか？

「審判を行う者はその席に着き、かずかずの書き物が開かれた」ダニエル書 7:10 「死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。」ヨハネの黙示 20:12 「自由の律法によってさばかれるべき者 ...」ヤコブの手紙 2:12 「わたしは ... 最後に出場する者として引き出し、こうしてわたしたちは、全世界に、天使にも人々にも見せ物にされたのだ。」コリント人への第一の手紙 4:9

答え： 法廷で証拠とされるものは、人々の生活の詳細が記録された書物です。忠実な人々の、祈り、悔い改め、そして罪のゆるしなどの記録をすべての人が見ることができます。それらの記録は、神の力によって、クリスチャンが変えられた人生を生きることが可能になったということを証明するものです。神は、彼の聖徒たちのことを喜ばれ、彼らの人生の証を分かち合うことを喜びとされます。「キリスト・イエスにあり、肉に従わず、むしろ御霊に従って歩む人々は、罪に定められることない」ということが、裁きで確かになるのです（ローマ人への手紙 8:1 欽定訳聖書）。

十の戒めである律法が裁きの基準です（ヤコブの手紙 2:10-12）。神の律法を破ることは罪です（ヨハネ第一の手紙 3:4）。律法の義が、イエスによって、すべての人の内に全うされます（ローマ人への手紙 8:3,4）。これらの事が不可能であると称することは、イエスの言葉と彼の力を疑うことになるのです。

裁きは神に情報を知らせるためではありません、神はすでにすべてをご存知であります（テモテへの第二の手紙 2:19）。とはいえ、救われた人々は、罪によって墮落していた世界から天国に来ます。天使たち、そして墮落しなかった他世界の住民たちが、再び罪を引き起こしてしまうかもしれない人々を、神の天の王国へ入れることを許すことを不安に思うことは確かなことです。それゆえに、彼らのために、細部に渡る情報、そしてすべての疑問に対する答えのために裁きを公開するのです。サタンのもっとも本当の目的は常に、神を不公平、無慈悲、愛に欠け、不誠実な方であるとして信用を落とすことでした。これに対して、宇宙の住民が、神が罪人にどんなに忍耐をしてこられたのかということを知りたいというのを直接に知るためにも、裁きを公開することがなおさら重要になるのです。神の御品性を擁護することが裁きの主要目的なのです（ヨハネの黙示録 11:16-19; 15:2-4; 16:5, 7; 19:1, 2; ダニエル書 4:36, 37）。神が裁きを行われる方法に、賛美と栄光が帰されていることに注目してください。



裁きにおいて提示される証拠は、天の書物からのものである。



人々の人生のあらゆる面が、裁きにおいて調査される。

4. 再臨前審判において、人々の人生のどの部分が調査されるのでしょうか？何が最終決定されるのでしょうか？応報はどのように決定されるのでしょうか？

「神はすべてのわざ、ならびにすべての隠れた事を善悪ともにさばかれるからである」伝道の書 12:14 「収穫まで、両方とも〔麦と毒麦〕育つままにしておけ。収穫の時になったら、刈る者に、まず毒麦を集めて束にして焼き、麦の方は集めて倉に入れてくれ、と言いつけよう」「人の子はその使たちをつかわし、つまずきとなるものと不法を行う者とを、ことごとく御国からとり集めて。」マタイによる福音書 13:30, 41 「見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。」ヨハネの黙示録 22:12

答え：

秘密の思いや行為を含め、生活の細部にわたって調査されます。このようなわけでこの最初の裁きの段階は、調査審判とも呼ばれます。審判は、クリスチャンと公言する人の中でだれが救われるのかということを確認にします。この審判ではまた、再臨前審判で調査されない名を、失われた者として確認されることも疑いのないことです。私たちは恵みによって救われるのですが、報酬はその人の働き、行動、行為に基づいて与えられるのです -- それらがクリスチャン信仰が本物であることを証明するからです（ヤコブの手紙 2:26）。



最後の裁きの第二の段階

5. どのグループの人々が、ヨハネの黙示録 20 章の千年の間に行われる天の裁きに参加しますか？この第二段階の裁きの目的は何ですか？

「聖徒は世をさばくものであることを、あなたがたは知らないのか ... あなたがたは知らないのか、わたしたちは御使をさささばく者である。」コリント人への第一の手紙 6:2, 3 「また見ていると、かず多くの座があり、その上に人々がすわっていた。そして、彼らにさばきの権が与えられていた。」ヨハネの黙示録 20:4

答え：

キリストの再臨のときに、雲に包まれ天国に連れて行かれるすべての時代の「聖徒」または義人が、この第二段階の裁きに参加します。

たとえば、ある家庭で最愛の息子が殺害され、その息子が天国にいないということがわかったとしましょう。ところが、殺人者は天国にいたのです。疑いもなく、家族はこの事実に対する答えが必要でありましょう。この第二の段階の裁きは、義人のすべての問いに答えるものです。すべての失われた人々(サタンと悪天使たちも含み)の生涯が、義人たちによって念入りに調査され、それから彼らは、一人一人の報いに関するイエスの決定に完全に同意します。裁きは独断的で勝手なものではなかったということがすべての人々に明らかになり、その代わりに、単に人々が、すでにイエス、あるいはほかの主人のどちらに仕えるのかを選択していたということが確認されます（ヨハネの黙示録 22:11, 12）。（千年期の復習は聖書講座 12 課を参照）。



すべての時代の義人、あるいは、「聖徒」が、この第二の段階のさばきに参加する。

最後の裁きの第三の段階

6. いつ、どこで、第三段階の最後の裁きが行われるのですか？この裁きの段階に関わる新しいグループの人々はだれですか？

「その日には彼の足が、東の方エルサレムの前にあるオリブ山の上に立つ。」「あなたがたの神、主はこられる、もろもろの聖者と共にこられる。」「全地はゲバからエルサレムの南リンモンまで、平地のように変わる。」ゼカリヤ書 14:4, 5, 10 「また、聖なる都、新しいエルサレムが ... 神のもとを出て、天から下って来るのを見た。」ヨハネの黙示録 21:2 「千年の期間が終ると、サタンは ... 諸国民 ... を戦いのために召集する」ヨハネの黙示録 20:7, 8

答え：

第三の段階の裁きは、ヨハネの黙示録 20 章にある千年間が終了したのちにこの地上で行われます -- それは、イエスが聖なる都と共にこの地上に戻ってこられてから行われます。悪魔や悪天使を含むこの世に生を受けたすべての悪人が立ち会います。千年間が終了したのち、すべての時代の悪人が復活します (ヨハネの黙示録 20:5)。サタンは直ちに大衆をだまし、操作するための強力な作戦を開始します。驚くべきことに、サタンは、地上の国民たちに、彼らは聖なる都を包囲することができるのだと説得することに成功します。



悪人たちは聖なる町エルサレムを攻撃しようとする。

7. 次に何が起りますか？

「彼らは地上の広いところの上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した」ヨハネの黙示録 20:9

答え：悪人は都を包囲し、攻撃する準備をします。

8. 何が彼らの戦いの計画を中断しますか？ その結果は何ですか？

「また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かすかすの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であった。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた」ヨハネの黙示 20:12 「なぜなら、わたしたちは皆、キリストのさばきの座の前にあらわれ」コリント人への第二の手紙 5:10 「主が言われる、わたしは生きている。すべてのひざは、わたしに対してかがみ、すべての舌は、神に賛美をささげるであろう、と書いてある。だから、わたしたちひとりひとり、神に対して自分の言いひらきをすべきである。」ローマ人への手紙 14:11,12

答え：警告もなく予期せず、ほとんど麻痺させてしまうような輝きで、神が都の上に姿を現します (ヨハネの黙示録 19:11-21)。最後の審判の瞬間が来たのです。この世が始まって以来、サタンと悪天使たちを含むすべての失われた魂は、今や神の裁きに直面するのです。すべての視線が王の王に注がれます (ヨハネの黙示録 20:12)。



第三の段階の裁きは、都を攻撃する計画を中断する。

一人一人が自分自身の生涯を振り返り吟味します。

そして、失われた魂の一人一人が、自身の生涯の出来事：神の止むことがなかった暖かい悔い改めへの懇願の呼びかけ；神の無心で必死な小さく静かな声；たびたび訪れた厳かな確信の気持ち；繰り返し応答することを拒否したこと、などを振り返ります。その記録はすべてそこにあるのです。その正確さは議論の余地がありません。その事実を反駁できません。神は悪人たちにそれを十分に、正確に理解して欲しいと望んでおられます。神はすべてを明白にするために、人々に求められる厳密で詳細な情報を提供して下さいます。その記録の書物は、だれでも見ることができるように用意されています。

覆い隠すことはない。

天においては覆い隠しなどということに神は関われることはありません。どんな証拠も隠滅されず、どんな録音も消されることはありません。何も隠されるものはありません。すべては公開され、この世に生を受けたすべての人々、そしてすべての善天使と悪天使たちは、数ある劇的な出来事の中で最も劇的な出来事を目の当たりにするのです。

失われた人々は膝をかがめます。

突然、変化が起ります。一人の失われた者が膝をかがめ、自分の罪を認め、そして神は、彼に対して十二分に公正であったと公に告白するのです。彼自身の頑固なプライドが神に回答することを引き留め続けていたのです。そして今やあらゆる所で、人々と悪天使たちも同じようにひざまずいています。そして、ほとんど同時に、大いなる変化が残りの人々、そしてサタンを含む悪天使たちに起り、神の御前に平伏するのです (ローマ人への手紙 14:11)。偽りの告発から神のみ名を公明正大に潔白にし、そして彼らに対する神の愛と、公正と哀れみに満ちた行為を証言するのです。

判決が正当であることを、すべての者が認めます。

すべての者が、彼らに宣告された死の刑罰が正当であることを認めます。これだけが安全に罪を処理するただひとつの方法なのです。失われた人は各々が、「あなたは、あなた自身を滅ぼした」(ホセア書 13:9 欽定訳聖書 訳注:日本語聖書では、わたし(神)が滅ぼすと誤訳されています)ということになるのです。今、全宇宙の前で、神の正当性が証明されるのです。サタンの告発と主張は暴露され、それはかたくなな罪人の強情で屈折した偽であったとして、完全に信用を失うのです。

9. 宇宙から罪を根絶し、義人に安全な住まいと未来を与えるために、どのようなことが最終段階に起りますか？

「彼らは ... 聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下って来て、彼らを焼き尽くした。そして、彼らを感じた悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。」ヨハネの黙示録 20:9,10 「彼ら〔悪人〕はあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主は言われる。」マラキ書 4:3 「見よ、わたしは新しい天と、新しい地とを創造する。」イザヤ書 65:17 「義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる。」ペテロの第二の手紙 3:13 「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして」ヨハネの黙示録 21:3

答え： 天からの火が悪人に下ります。その炎は、宇宙から永久に、罪と罪人を完全に根絶します。(地獄の火に関する詳細は、この聖書講座 11 課をご参照ください) これは神の民にとって、深い悲しみと、激しく心が痛む時です。事実上、すべての人々が、愛する人、または友人が炎の中にいるということになるのです。保護天使たちは、おそらく、彼らが長年にわたって愛し、守ってきた人々を失うことで涙を流すことでしょう。キリストでさえ、長い間愛し、懇願してきた人々のことを悲しまれることは疑いもないことです。罪の悲惨な値であるこの恐ろしい瞬間は、私たちの愛の父である神の言語に絶する苦悩のときなのです。



天からの火は罪と罪人を宇宙から永久に完全に根絶する。

10. 旧約聖書における地上の聖所での「贖罪の日」の奉仕は、裁き、そして宇宙から罪を根絶し、完全な調和を回復するという神のご計画が、どのように象徴されていたのですか？



犠牲の動物は十字架上でイエスの犠牲を象徴する。

答え：

この聖書講座 2 課で、サタンがどのように偽りの告発をし、神に敵対し、忌まわしい罪という悪性腫瘍を宇宙に持ち込んだのかということ学びました。古代イスラエルの贖罪の日は、その象徴を通して、神がどのように罪の問題を扱い、贖罪によって宇宙に再び調和をもたらすのかということをお教えるものでした(贖罪は、「ひとつになる at-one-ment」、あるいは、「すべてのものを完全な天の調和に戻す」という意味です)。地上の聖所での象徴的な段階は：

- A. 主のやぎが人々の罪を覆うために殺された。
- B. 祭司は、贖罪所(恵みの座)の前で、犠牲の血のための奉仕をした。
- C. 裁きが次の順で行われた: (1) 義人が確定され、(2) 悔い改めなかった人々は切り離され、(3) 罪の記録は聖所から除去された。
- D. 罪の記録は、アザゼルのやぎ(スケープゴート)の上に置かれた。
- E. アザゼルのやぎは荒野に追いやられた
- F. 人々は罪から清められた。
- G. 新しい年が潔白になった記録で始まる。



贖罪所(恵みの座)の前で行われた祭司の働きは、私たちのために天で行われているイエスの働きを象徴している。

これらの七つの象徴的な段階は、天に制定されている聖所 -- それは宇宙における神の天の拠点となっているところ -- における実際の贖罪のできごとを表しています。上の一番目に書かれてれていることは、下の一番目に書かれている実際の贖罪のできごとの象徴で、上記の二番目は、下記二番目の象徴というように上下が対応しています。神がどんなに明瞭にこれらの大いなる贖罪のできごとを象徴化されてきたかということに注目してください：

- A. 人類の身代わりとしてのイエスの犠牲の死(コリント人への第一の手紙 15:3;5:7)
- B. 人々を神のみ姿に回復するための我々の大祭司としてのイエスの働き(ヘブル人への手紙 4:14-16 ; ローマ人への手紙 8:29)
- C. 裁きは、生存していた者たち -- 善人と悪人 -- の 記録を提供し、そしてそれから天の聖所から罪の記録を除去(ヨハネの黙示録 20:12 ; 使徒行伝 3:19-21)
- D. 罪の創始者、そしてすべての人々に罪を犯させた責任がサタンに置かれる(ヨハネの第一の手紙 3:8 ; ヨハネの黙示録 22:12)
- E. サタンは荒廃した地球に追放される(ヨハネの黙示録 20 章の千年間)
- F. サタンと罪、そして罪人は永久に根絶される(ヨハネの黙示録 20:10;21:8 詩篇 37:10,20;ナホム書 1:9)
- G. 新しい地球が神の民のために創造される。罪によって失ったすべてのものが、主の聖徒たちに戻される(ペテロの第二の手紙 3:13 ; 使徒行伝 3:20,21)

贖罪は、宇宙とそこにあるものすべてが、罪が進入する以前の状態に回復されるまでは完成されません -- それは、罪は決して再び起こることはないという保障も含まれているのです。

11. この聖書研究講座で説明していただきましたが、何が裁きについて良い知らせなのですか？

答え：

- A. 神と、罪の問題の神の処理の方法は、全宇宙の前で見事にその正当性が証明されます。これが審判の主要目的です。
- B. 裁きは、神の民のために判決が下されます。
- C. 義人は永久に罪から安全になります。
- D. 罪は完全に根絶され、決して再び起こることはありません。
- E. アダムとエバが罪のために失ったすべてのものが、救われた人々に回復されます。
- F. 悪人は燃えて灰になります -- 永遠に苦しめられることはありません。
- G. 審判において、イエスがわたしたちの判事、弁護人、そして証人です。
- H. 父、そして子なる神の御二方が私たちを愛してくださっています。私たちを告発するのは悪魔です。
- I. 天の数々の書は、義人にとって助けとなるものです、なぜなら、どのように福音の恵みが彼らの人生を変えたのかということを示すからです。
- J. キリスト・イエスにある者たちは、罪に定められることはありません。審判はただその真の証拠になるだけです。
- K. ただひとつの魂（人間や天使）も、神は不公平だと不満を口にすることはありません。すべての人への対応において、神は愛で、公正で、恵みに満ち、そして寛容であったと口を揃えて言うでしょう。



裁きの後、罪は永遠に取り除かれる。義人は永遠に安全な環境に住む。

12. もし、あなたが、あなたの人生に神をお招きし、彼に支配していただき続けることを承知するならば、神は天の裁きにおいてあなたを無罪判決にすることを約束しておられます。あなたは、今日、神をあなたの人生にお招きしますか？

答え：

- はい
- いいえ

質問

1. イエスを私の救い主(Saviour)として受け入れることと、私の主(Lord)として受け入れることとの違いは何ですか？
エペソ人への手紙 4:13

大きな違いがあります。私がイエスを救い主として受け入れると、イエスは私を罪の呵責と刑罰から救ってください、新しく生まれ変わらせてくださいます。そして、私を罪人から聖徒に変えてくださいます。この相互間の働きはすばらしい奇跡であり、救いに欠かせない重要なことです。この経験なしにはだれも救われることはできません。しかしながら、イエスはこの時点で、私に対する働きを終えられたわけではありません。私は生まれ変わりましたが、私が成長し、イエスに似たものになることもまた、イエスのご計画なのです（エペソ人への手紙 4:13）。私が日々、イエスを私の支配者、そして人生の主として受け入れるときに、奇跡によって、私がキリストにあって成熟した者になるまで、恵みのうちに成長し、クリスチャンとしての行いをさせてくださいます（ペテロの第二の手紙 3:18）。

問題—私は自分の意のままに生きたい

問題は、私は自分の人生を自分で操作したい — 自分の好きなように勝手に生きたいということなのです。聖書はこれを「不義」、または罪と呼んでいます（イザヤ書 53:6）。イエスを自分の主とすることはとても重要で、新約聖書では、766回もイエスを「主」と呼んでいます。使徒行伝の中だけでも110回、イエスを「主」と呼んでおり、「救い主」と記されているところは2回だけです。これは私たちの人生において、イエスを主、そして支配者として認めることがいかに重要であるかということを示しています。

なおざりにしてきた義務 — イエスを主とする

イエスは、彼の支配権を常に重要なものとして位置付けていらっしゃいます。なぜなら、主を無上のお方とすることは、忘れられたり、なおざりにされてしまいがちな義務であることをご存知であったからです（コリント人への第二の手紙 4:5）。イエスを私の人生の主としない限り、私は決してキリストの義の衣を着せられた成熟したクリスチャンになることはできません。それどころか最終的には、「みじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者」になってしまい、さらに恐ろしいことは、「なんの不自由もない」という気持ちになってしまうのです（ヨハネの黙示録 3:17）。

2. 神の民の罪の記録は、贖罪の日にアザゼルのやぎに移されましたが、やぎもまた、罪を負う者となるではありませんか？私はイエスだけが私たちの罪を負われたと思っています。
ヨハネによる福音書 1:29

アザゼルのやぎはサタンを象徴していますが、私たちの罪を担ったり、罪の支払いをするなどということはありません。贖罪の日に犠牲として捧げられた主のやぎが、カルバリーで、私たちの罪の支払いをしてくださったイエスを象徴しています。イエスだけが「世の罪を取り除き」ます（ヨハネによる福音書 1:29）。サタンはほかのすべての罪人と同じように自分自身の罪のために刑罰を受けます（ヨハネの黙示録 20:12-15）が、それは(1) 罪の創始者(2) 自分自身の悪行、そして(3) 地上のすべての人に罪を犯すような影響を及ぼしたことの責任も含まれています。神は明らかにサタンに悪の責任を負わせられます。これが贖罪の日に、アザゼルのやぎに罪が移されるという象徴が教えていることです。

3. 聖書には、告白したすべての罪はゆるされるということが明確にされています（ヨハネの第一の手紙 1:9）。また、ゆるされてはいても、これらの罪の記録は世の終わりで天の書に残るともまた明確です（使徒行伝 3:19-21）。なぜゆるされた時点で、罪が消されないのですか？
ヨハネの第一の手紙 1:9

それには正当な理由があるのです。天の審判は、悪人の裁きが行われるまでは完結できません；それはこの世の終わりに彼らが滅ぼされる直前です。もし、神がこの最後の段階の裁きの前に記録を消滅してしまわれるのなら、神は膨大な隠ぺい工作をしたとして非難されるかもしれません。すべての行いの記録は、審

判が完結されるまで調査のために開かれたままにされています。

4. ある人は、裁きは十字架のときになされたと言い、ほかの人は、死ぬときになされると言っています。裁きのときがこの聖書研究講座で明らかにされましたが、それが正確であることを確かできますか？

ヨハネの黙示録 14:7

裁きのときに関して、私たちがそれを確実なことにすることができるように、神はダニエル書 7 章で三度、明瞭な詳細を述べておられます。それらの特定のときに注目してください、そこには不確実さはまったくありません。この一章 (ダニエル書 7 章) の中に、天が定めた順序が三度記されています (8-14 節, 20-22 節, 24-27 節):

- A. 小さい角の権力は - 紀元 538 年 - 1798 年まで支配した (聖書研究講座 15 課参照)。
- B. 裁きは -1798 ののち (正確なときは 1844) に始まり、イエスの再臨前まで続く。
- C. 神の新しい王国は - 裁きが終了するときに設立される。

このように神は、裁きが、死のときや、十字架のときでもなく、1798 年からイエスの再臨までの間に起こるということを明らかにしておられます。

第一の天使のメッセージは、「神のさばきのときが来た」ということが含まれていることを覚えていてください (ヨハネの黙示録 14:6,7)。終末時代に生きる神の民は、最終的な裁きが今進行中であることを世に宣べ伝えなくてはなりません！

5. これらの審判についての研究から、私たちはどのような重要なレッスンを学ぶことができますか？

ダニエル書 7:9

下記の 5 つの項目をご覧ください:

- A. 神が行動を起されるまで長い時間がかかっているように思われますが、神のタイミングは正確です。失われた人はだれも、「私は理解できませんでした」とか、「私は知りませんでした」と言うことはできません。
- B. サタン、またどのような悪であれ、最終的には裁きの時に神によって処罰されてしまいます。裁きは神のなさることであり、神はすべての真相をご存知でありますから、私たちはほかの人々を裁くことをやめ、神にお任せすべきです。神の裁きの働きを横取りしてしまうことは、私たちににとって深刻な問題です。それは神の権威を奪うことになるからです。
- C. 神は、私たちがどのように神との関係を持ち、だれに仕えるのか、すべてのことを自由に決めるがままにしてください。しかしながら、神の言葉に反することを決断してしまうとき、私たちは重大な結果を覚悟していなければなりません。
- D. 神は私たちをとても愛してください、私たちがこの世の終わりの出来事が明瞭になるように、ダニエル書とヨハネの黙示録を与えてくださいました。私たちの唯一の安全は、神に聞き、これらの偉大な預言の書からの神の勧告に従うことにあります。
- E. サタンは私たちをひとり残らず滅ぼそうと決意しています。彼の欺瞞的な方法はとても効果的で説得力があるため、ごく少数の人を除いてほとんどの人がわなにかかってしまいます。悪魔のわなから私たちを守るために、私たちの日々の生活においてキリストの復活の力がなければ、私たちはサタンによって滅ぼされてしまいます。

クイズ

1. 裁きには、いくつの段階がありますか？(1)

- 六つ
- 一つ
- 三つ

2. 裁きの最初の段階に関して、正しいものを選んでください。(7)

- 再臨前の裁き (再臨前調査審判) と呼ばれている。
- それは 1844 年に始まった。
- この裁きは今行われている。
- サタンは訴える者である。
- 天使ガブリエルが判事である。
- 神が議長である。
- 預言者ヨナがそれを予告した。
- 神の律法が基準である。
- クリスマンと公言する人々の人生(生活)が調査される。

3. 下記のどれが、千年の間になされる第二段階の裁きについて正しいですか？(3)

- 全ての時代の義人が出席する。
- 悪魔が継続的に裁判を邪魔する。
- 全ての者が、サタンの罰の判決が正しいと一致する。
- サタンの悪天使たちは許される。
- 悪人は彼らの権利を要求する。

義人たちは、なぜある友だちは救われなかったのかということを理解する。

4. イエスは三つの立場で奉仕されます。それらは何ですか？(3)

- 裁判官
- 証人
- 執行吏
- 裁判所の職人
- 被告人の弁護士

5. 千年期が終了し、悪人たちが聖なる都を包囲した後の裁きにおいて、悪人たちは実際にその場に臨んでいます。(1)

- はい
- いいえ

6. 神は、失われたすべての人々、そして天使に、なぜ彼らが失われてしまったかを明らかにされます。(1)

- はい
- いいえ

7. ある裁きの段階において、この世に生を受けたすべての人々（善人と悪人）、そしてすべての悪天使とサタンが同時にその場に臨みますが、それはどの段階でしょうか？(1)

- 第一の段階 — 再臨前審判が行われている現在
- 第二の段階 — 千年の間
- 第三の段階 — 千年間ののち

8. なぜ、天の裁きにおいて、記録の書が必要なのですか？(1)

- 神に真実を教えるために。
- 神が忘れたことを思い出させるため。
- 天使たちに何かすることを与えるために
- 人々、天使たち、そして他世界の住民たちに、神の公平で、正しい裁きの方法に関しての理解を助けるため。

9. 「贖罪」という意味は「すべてのものを完全な天の調和に戻す」ことです。次のどれが、天の偉大な贖罪の一部ですか？(5)

- 十字架上のイエスの死
- 裁き
- 大祭司としてのイエス・キリストの働き
- ノアの時の洪水
- ライオンの檻のなかのダニエル
- 罪と罪びとの最後の滅亡
- 新天地の創造

10. 次のうちのどれが、裁きに関しての良き知らせですか？(5)

- 裁きは義人の益のためになされる。
- 悪魔は地獄で永遠に燃える。
- 罪は再び起こることはない。
- 罪は遠い将来、容易に再び起こり得る。
- イエスが私たちの裁判官、弁護士、また、証人である。
- 罪、そして救いに関わられる神の方法は、完全に擁護される。
- アダムとエバが罪によって失ったすべてのものは回復される。

11. 裁きにおいてのアザゼルのやぎ（スケープゴート）と比例して、サタンに関して真実を述べているものは何ですか？(3)

- 彼は罪の創始者として裁かれる。
- サタンは、すべての人間が罪を犯すように導いたために裁かれる。
- 彼は、私たちの罪のために支払う事に関してはまったく関係がない。
- サタンはアザゼルのやぎになる事を拒み、そして、彼は逃げる。

12. 裁きは独断的なものではありません。そうではなく、イエスか、またはほかの主人に仕えるのかという人々がすでになした選択を再確認することです。(1)

- はい
 いいえ

13. 裁きの主要な目的は、罪が始まって以来、神が罪の悲劇を賢明に、公正に、そして正しく扱われたのだということ、人々、サタン、善天使、悪天使、そして他世界の住民に明確にすることです。(1)

- はい
 いいえ

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.